

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
哲 学	219～	1年生・後期	2単位	選択	塚野 慧星	
履修の前提条件		物事を深く考えようとする意欲があることが望ましい。				
授業概要 (Course Outline)						
本授業は「哲学」を科目名としますが、過去の哲学者たちが「何を考えてきたか」を知識として教えるものではありません。本授業では、過去の哲学者が「どのように考えてきたか」という点を踏まえながら、「物事を哲学的に考える力」とは何かを理解し、実践することを目指しています。この意味で本授業は、日常生活に応用することのできる「生きた哲学」を身に付けるための授業となります。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					○
	数量的スキル Mathematics					
	情報リテラシー Information Literacy					
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
	問題解決力 Problem Solving					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					
	自己管理力 Self-management					
	チームワーク Teamwork					○
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					○
生涯学習力 Lifelong Learning					○	
到達目標 (Objectives)						
本授業では、受講者が「物事を哲学的に考える力」を身に付けることを目標としています。そのために「問題の立案」・「問題の解決」・「論理的思考」・「対話論」・「応用編」というテーマを設け、各テーマに対する理解を深めてもらいます。その上で「グループワーク」では、物事を哲学的に考えることを受講者自身に実践してもらいます。これらの内容を通じて受講者が、日常生活において哲学を応用することのできる水準に到達することを期待しています。						
事前学習の内容	前回の授業で分からなかった内容・気になった内容を整理すること。					
事後学習の内容	配布したプリントに目を通して授業内容の理解を深めること。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
授業内に適宜グループワークを行います。また、授業後にはコメントカードを配布します。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
質問等は授業の前後の時間に受け付けます。						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション：哲学とは何か？		
第2回	問題の立案（1）問題を発見する方法を理解する		
第3回	問題の立案（2）問題を正しく立てる方法を理解する		
第4回	問題の解決（1）基準を活用する方法を理解する		
第5回	問題の解決（2）物事を多面的に見る方法を理解する		
第6回	論理的思考（1）帰納法と演繹法を理解する		
第7回	論理的思考（2）因果関係と相関関係の区別を理解する		
第8回	論理的思考（3）意味の混同を回避する方法を理解する		
第9回	対話論（1）他者とは何かを理解する		
第10回	対話論（2）他者との対話が成立する条件を理解する		
第11回	応用編（1）「正しいとは何か？」という問いを考える		
第12回	応用編（2）「自由とは何か？」という問いを考える		
第13回	応用編（3）「大人とは何か？」という問いを考える		
第14回	グループワーク（1）受講者が自らの問いに答える作業を行います		
第15回	グループワーク（2）受講者が互いの成果を共有する作業を行います		
第16回	まとめ：哲学を日常生活に活用するためには？		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
プリントを配布します			
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
授業内で適宜紹介します			
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
定期試験(80%) + 平常点(20%)			